

入院診療計画書

頤椎 後方固定術 を受けられる ()様へ

薬剂師

2部 印 刷

リハビリ担当

1部:患者ファイル

1部:患者様用

病名

年齢

生年月日:

症状

受持看護師

病棟

担当管理栄養士

手術日時

年月日

AM

・

PM

時分

病日	入院日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後7日目	退院(術後15日目)
日付		(術前)	(術後)							
目標	不安がなく手術を受けることができる 治療(手術)の流れについて理解できる	不安がなく手術を受けることができる	身体が痛い時や調子の悪い時などに看護師に伝えることができる 退院後の注意事項や生活について理解することができる							
食事	食事は普通食が出ます 必要に応じて治療食が出ます (水分摂取は麻酔科医から説明があります)	食事は絶食になります	手術後2時間後より飲水ができます	食事を開始します おなかの動きがよければ、食事は軟らかい食事から徐々に普通食になります						
安静度	制限はありません		ベッド上で安静です 横を向いたり、起き上がったりできません クッション枕を使用します 術後2時間後よりベッドを上げることができます 手術の傷口に血液が溜まらないようにするための管が入っている方を上にして横になることができます	装具を装着し歩くことができます						
清潔	シャワー浴ができます	シャワー浴ができます 義歯・指輪・ヘアピンは外してください		週3回看護師が体を拭きます		3日目以降全身状態がよければシャワー浴ができます (初めてのシャワー浴は必ず看護師が介助または、説明をします)				
排泄	排便の確認を行い、必要に応じて便処置を行います		尿の管が挿入されています ベッド上での排泄となります	歩けるようになれば、尿の管を抜きます (必要に応じてポータブルトイレ・尿器を使用します)						
検査	医師の指示により検査があります		血液検査と胸部・手術部のX線撮影をします	血液検査があります				術後3日目、7日目、14日目血液検査やレントゲン検査をします 患者状態により追加もあります		
治療処置	普段飲まれているお薬は特に指示がなければ続けてお飲みください ※抗凝固剤を普段飲まれている方は内服が中止できていることを確認します	点滴(抗生剤)を開始します	点滴があります	酸素吸入をします → 酸素の状態が落ち着いていれば酸素吸入は終了します 手術の傷に管が入ります → 手術後2日目に排液量が少なくなれば管を抜きます 飲水・食事が開始となれば普段飲まれているお薬を再開してください(抗凝固剤の内服は医師の指示が出たら再開します)						
リハビリ	理学療法士から説明があります			装具を装着し歩行訓練を行います(歩行状態により歩行器・杖を使用します)						
説明指導	麻酔科医から麻酔について説明があります 薬剤師からお薬について説明があります お薬などのアレルギー歴がある場合は医師または看護師にお知らせください 主治医・看護師が手術について説明します(看護師はパンフレットを使用し説明します) 同意書は手術当日までに看護師にお渡しください	手術中、家族の方は病棟のデイコーナーでお待ちください	痛みがある時は、遠慮なく看護師に声をかけてください 術後、主治医から治療について説明があります ※手術前にお渡しするパンフレットを参考に、してはいけない姿勢を十分理解してリハビリをがんばりましょう わからないことがあれば主治医、看護師、理学療法士にご相談ください 必要に応じて栄養士から退院後の食事について説明があります 必要に応じて、痛み止めを使います ***寝返りのポイント*** 両膝を立てそろえます 次に下腹に力を入れ、肩と腰がねじれないように横向きになります							
			薬剤師からお薬について説明があります 感染徴候がなければ退院または転院となります							

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

※ 特別な栄養管理の必要性 ☒ 有 ☐ 無

◇総合的な機能評価◇ ☐ 評価対象外

・日常生活動作

☐ 問題なし

☐ 要経過観察

・認知機能

☐ 問題なし

☐ 要経過観察

・意欲

☐ 問題なし

☐ 要経過観察

主治医

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

患者 又は 親権者・親族等サイン

高知赤十字病院 整形外科 08-003(患者用)